



広報

常陸大宮



2015
4
No.127

大相撲常陸大宮場所開催

主な内容

P2～3	ハッピー子育てひたちおおみや
P4～10	平成27年度当初予算
P12	岩崎の風 ―発掘調査報告―
P13～19	まちのできごと
P23	知って得する消費者情報

ハッピー子育てひたちおおみや

～常陸大宮市独自の支援策を紹介～



あなたの子育てを応援します

事業名	内容
①出産祝い金	第1子・第2子3万円、第3子5万円、第4子10万円、第5子以降20万円
②乳児育児用品購入助成券	乳児1人につき2万円分の助成券を交付します。
③多子世帯への保育料の軽減 保育所（園）・認定こども園（保育園部分）・認可外保育園 幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）	第2子は半額、第3子以降は無料です。
④マル福（小児医療福祉制度）	出生から小学6年生までのマル福外来自己負担分を助成します。 （マル福外来自己負担…医療機関ごとに1日600円（月2回限度）） 10月からマル福外来自己負担の対象者を中学3年生までに拡大します。
⑤不妊治療費の補助	不妊治療費の一部を助成します。 （1回の治療につき5万円を限度に、初年度は年3回、翌年度以降は年2回まで、5年間で10回以内）
⑥定住促進のための住宅取得奨励金	市内に住宅を建設または購入する子育て世帯・新婚世帯に対し、定住促進奨励金を交付します。（新築・建売住宅 50万円、中古住宅 25万円）
⑦新婚家庭への家賃助成	市内の民間賃貸住宅に居住する新婚家庭に対し、家賃の一部を助成します。（月額1万円を最長36カ月分）
⑧赤ちゃんの駅	乳幼児を持つ保護者が、外出先で人の目を気にすることなくオムツ替えや授乳ができる場所です。市役所・かがやき・山方総合支所・北斗星（道の駅）に設置。



①出産祝い金

お子さんの誕生を
祝してお祝い金を支給

⑤不妊治療費の補助



②乳児育児用品購入助成券

乳児1人につき
2万円分を助成

⑥住宅取得奨励金

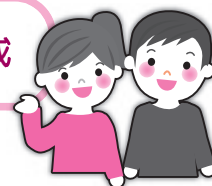
市内に住宅を建設または購入する
子育て世帯等に奨励金を支給
新築・建売 50万円
中古住宅 25万円



③多子世帯への保育料の軽減

第2子は半額、
第3子以降は無料

⑦新婚家庭への家賃助成



④マル福（小児医療福祉制度）

小学6年生までの医療費を助成



⑧赤ちゃんの駅

※対象者は常陸大宮市に住所を有する方です。
詳しい内容については担当課にお問い合わせください。

対 象 者	担 当 課
出産時に市に住民票があり、平成27年4月1日以降に生まれた乳児の保護者	福祉課 子育て支援室 ☎52-1111（内線138）
平成27年4月1日以降に生まれた乳児の保護者	
第2子以降の子どもを、保育所（園）・認定こども園・認可外保育所・幼稚園に預けている保護者	福祉課 子育て支援室 ☎52-1111（内線138） 学校教育課 学務グループ ☎52-1111（内線334）
小学6年生までの児童を療育している保護者 ※所得制限あり	医療保険課 ☎52-1111（内線164）
県の不妊治療費の助成を受けている人	健康推進課 ☎54-7121
平成27年1月1日から平成31年12月31日に所有権の保存または移転の登記が完了し、中学生以下の子どもが同居している世帯または5年以内に婚姻届を提出している45歳以下の夫婦 ※その他諸条件あり	都市建設課 ☎52-1111（内線253）
申請日の前3年以内に婚姻届を提出し、平成25年4月1日以降に賃貸借契約を結んだ40歳未満の夫婦（家賃月額が5万円以上） ※その他所得制限などあり	
	福祉課 子育て支援室 ☎52-1111（内線138）

平成27年度当初予算 一般会計予算220億円

平成27年度の一般会計当初予算は、220億円で前年度当初より4.5%増となりました。

歳入では、市税が固定資産税評価替えの影響から減となりますが、国庫支出金や地方消費税交付金では増となり、財政調整基金等からの繰入金も増額しました。歳出では、財政健全化に努めながら、市総合計画の推進と市勢発展につながるよう、また人口減少対策への取り組みを強化するとともに、引き続き福祉の充実、安心・安全の確保及び教育・文化の振興等に配慮して、予算編成を行いました。

その他特別会計は、8.8%増の141億4,990万円、上水道事業会計は、26.6%減の9億2,499万5千円となり、全会計予算の総額は、前年度より4.9%増の370億7,489万5千円となりました。

平成27年度 会計別予算額

(単位：千円、%)

会 計 名	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
一 般 会 計	22,000,000	21,060,000	940,000	4.5
国民健康保険 特 別 会 計	5,883,000	5,306,000	577,000	10.9
事業勘定 診療施設勘定	178,000	165,000	13,000	7.9
公共下水道事業特別会計	680,000	630,000	50,000	7.9
公営墓地特別会計	27,400	53,800	△26,400	△49.1
農業集落排水事業特別会計	534,000	513,000	21,000	4.1
介護保険特別会計	4,894,000	4,647,000	247,000	5.3
簡易水道事業特別会計	811,000	1,117,000	△306,000	△27.4
宅地造成事業特別会計	29,500	29,000	500	1.7
戸別浄化槽整備事業特別会計	45,000	44,500	500	1.1
温泉事業特別会計	613,000	50,600	562,400	1,111.5
後期高齢者医療特別会計	455,000	452,500	2,500	0.6
上水道 事業会計	733,121	728,849	4,272	0.6
収益的支出 資本的支出	191,874	532,052	△340,178	△63.9
合 計	37,074,895	35,329,301	1,745,594	4.9

一般会計

市民1人
当たりの予算

493,296円
(466,911円)

1世帯
当たりの予算

1,254,920円
(1,206,808円)

●平成27年3月1日現在住基人口
44,598人

●平成27年3月1日現在世帯数
17,531世帯
()内は前年度の金額

一般会計【歳入】

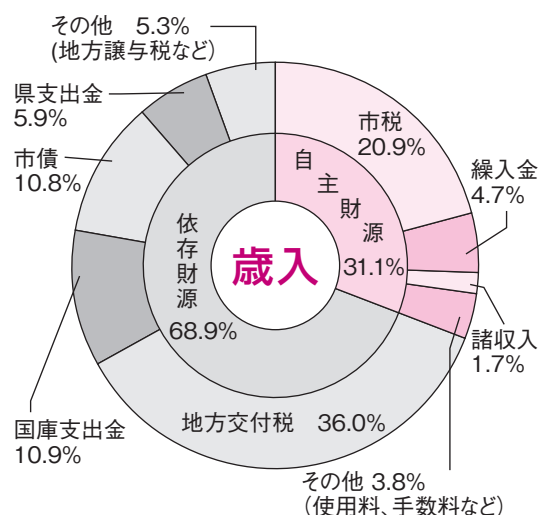
一般会計歳入予算財源別内訳

(単位：千円)

科 目	平成27年度	平成26年度	増減額
自主財源			
市 税	4,595,162	4,656,969	△61,807
繰 入 金	1,029,994	792,950	237,044
諸 収 入	383,550	421,727	△38,177
そ の 他 ※1	847,890	774,354	73,536
計	6,856,596	6,646,000	210,596
依存財源			
地 方 交 付 税	7,928,000	7,870,000	58,000
国 庫 支 出 金	2,392,673	2,154,907	237,766
市 債	2,373,500	2,113,500	260,000
県 支 出 金	1,296,537	1,309,410	△12,873
そ の 他 ※2	1,152,694	966,183	186,511
計	15,143,404	14,414,000	729,404

※1 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金

※2 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

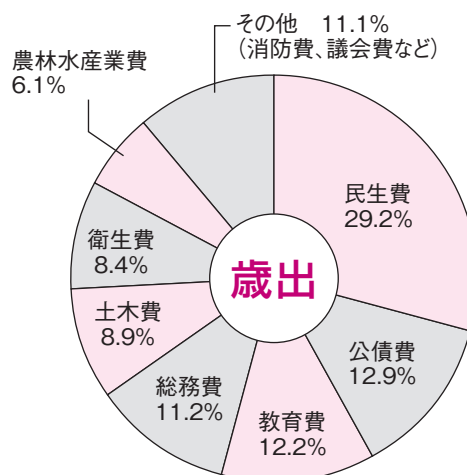


一般会計【歳出】

一般会計歳出予算科目別内訳

(単位：千円)

科 目	平成27年度 予算額	平成26年度 予算額	増減額
1. 議 会 費	235,324	232,110	3,214
2. 総 務 費	2,454,249	2,397,400	56,849
3. 民 生 費	6,431,821	6,593,174	△161,353
4. 衛 生 費	1,845,175	1,965,234	△120,059
5. 労 働 費	37,311	44,267	△6,956
6. 農林水産業費	1,347,926	1,186,729	161,197
7. 商 工 費	953,389	676,530	276,859
8. 土 木 費	1,963,467	1,666,497	296,970
9. 消 防 費	1,164,679	1,085,445	79,234
10. 教 育 費	2,676,535	2,211,549	464,986
11. 災 害 復 旧 費	1	1	0
12. 公 債 費	2,843,841	2,963,233	△119,392
13. 諸 支 出 金	26,282	17,831	8,451
14. 予 備 費	20,000	20,000	0
合 計	22,000,000	21,060,000	940,000



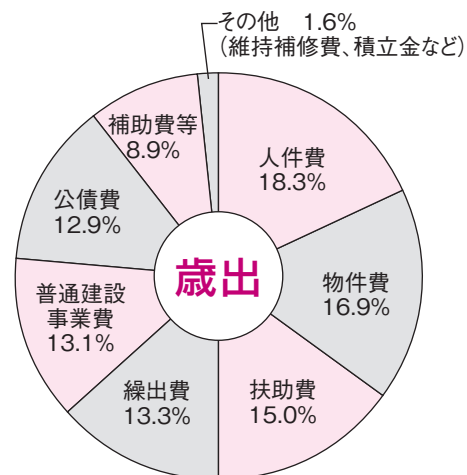
【主な増減】

- 総務費は、ふるさと応援基金積立分の増により増額となっています。
- 民生費は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の減により減額となっています。
- 衛生費は、上水道事業会計補助金の減により減額となっています。
- 農林水産業費は、県営土地改良事業費の増や多面的機能支払推進事業の皆増により増額となっています。
- 商工費は、道の駅整備事業費の増により増額となっています。
- 土木費は、橋梁維持補修費や橋梁耐震化事業費の増により増額となっています。
- 消防費は、消防本部訓練塔新築工事の増により増額となっています。
- 教育費は、第二中学校整備事業の増により増額となっています。
- 公債費は、長期債償還費の償還元金の減により減額となっています。

一般会計歳出予算性質別内訳

(単位：千円)

区 分	平成27年度 予算額	平成26年度 予算額	増減額
1. 人 件 費	4,025,262	4,133,384	△108,122
2. 物 件 費	3,704,526	3,358,452	346,074
3. 維持補修費	95,524	99,189	△3,665
4. 扶 助 費	3,302,307	3,206,766	95,541
5. 補 助 費 等	1,958,563	2,156,185	△197,622
6. 普通建設事業費	2,886,967	2,133,890	753,077
7. 災害復旧事業費	1	1	0
8. 公 債 費	2,843,841	2,963,233	△119,392
9. 積 立 金	136,559	61,076	75,483
10. 投資及び出資金	71,100	500	70,600
11. 貸 付 金	37,536	39,036	△1,500
12. 繰 出 金	2,917,814	2,888,288	29,526
13. 予 備 費	20,000	20,000	0
合 計	22,000,000	21,060,000	940,000



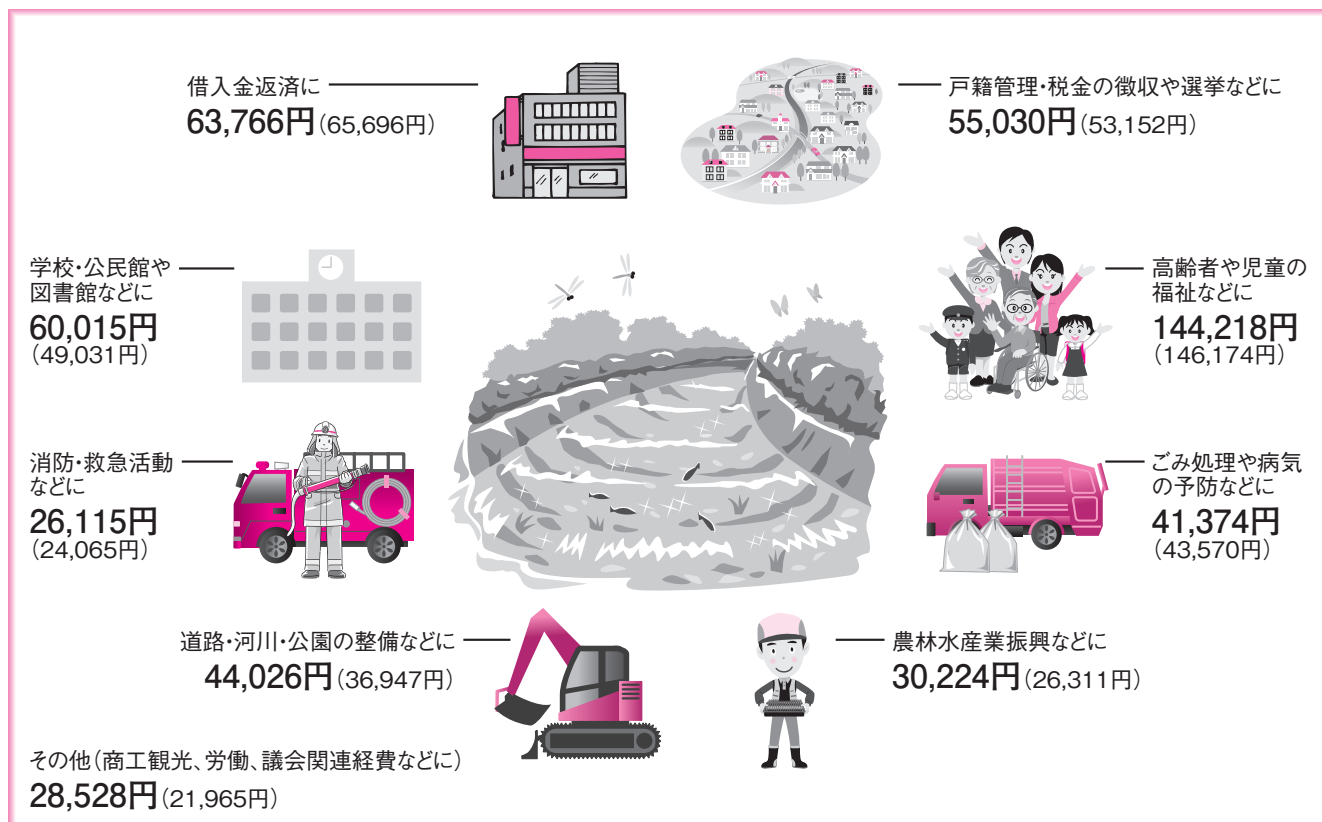
【主な増減】

- 人件費は、職員数削減等により減額となっています。
- 物件費は、市内循環バス運行委託料や小中学校のスクールバス運行业務委託料の増により増額となっています。
- 補助費等は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の減により減額となっています。
- 普通建設事業費は、道の駅整備事業費、橋梁耐震化事業費や第二中学校整備事業の増により増額となっています。
- 公債費は、長期債償還費の償還元金の減により減額となっています。
- 積立金は、ふるさと応援基金積立分の増により増額となっています。
- 投資及び出資金は、道の駅管理運営法人出資金の皆増により増額となっています。

一般会計【歳出】

【市民1人当たりの予算】

() 内は前年度の金額



平成27年度 一般会計主要事業

【総務費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
広報縮刷版作成費	4,169	市制施行・合併後10年間の「広報常陸大宮」の縮刷版を作成します。
友好都市推進事業	435	常陸大宮市と関係の深い都市との文化交流や親善を目的として、友好都市の提携を目指します。
ふるさと応援基金費	168,798	広く市への寄附を募るために、謝礼品として特産品を充実させ、全国の寄附者から市に関心を持ってもらい、その寄附金を子育て支援等に役立てます。
地域おこし協力隊事業	292	集落の維持・活性化を図るため、地域外から地域おこし協力隊員を募集します。
新婚家庭家賃助成事業	8,400	若年層の定住促進事業として、40歳未満で結婚3年以内の夫婦が、月額5万円以上の民間アパートに入居した場合に家賃を補助します。(限度額：1万円/月、交付期間：3年)



【民生費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
元気ひたちおおみや結婚応援事業	2,105	結婚相談員を配置し、結婚の相談や紹介、その他結婚に関する講演会やふれあいパーティなどを開催します。

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
防犯灯管理費	13,236	市内防犯灯の省エネと長寿命化を図るため、約5,500基をLED化します。
防犯カメラ設置事業	800	犯罪の抑止を目的として、野上原駅前に防犯カメラを設置します。
医療費負担軽減 (マル福制度)	301,414	外来で病院にかかった費用について、現在の小学校6年生までの助成を平成27年10月から中学校3年生まで拡大し、医療費の負担を軽減します。(拡大助成分11,149千円)
多子世帯保育料軽減	31,640	市独自の施策として、保育所や認定子ども園に入所する児童について、2人目の保育料を半額とし、保護者の負担を軽減します。
乳児育児用品購入助成事業	6,158	市が委託する販売店で使用できる育児用品の購入券(2万円)を支給し、子育て世代の負担を軽減します。 (対象者：H27.4.1以降の新生児の保護者)
認定子ども園整備事業	32,011	児童福祉の向上を図るため、若草幼稚園の施設整備の費用を補助します。
高齢者位置情報サービス 利用助成事業	100	認知症で徘徊の症状がある高齢者を在宅で介護している方が、位置情報サービスを利用する際に、初期費用の一部を助成します。



【衛生費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
常陸大宮済生会病院運営補助金、常陸大宮済生会医療機器等更新事業補助金	300,000	県北西部地域の医療サービスの充実を図るため、二次救急医療を担う常陸大宮済生会病院に対し、運営補助の拡大及び医療機器等更新の費用を補助します。
地域医療を担う人材確保 修学資金貸付金	18,000	市内の公的医療機関で地域医療を担う人材の育成及び確保を図るため、医学を履修する学生に対し、修学に必要な資金を貸し付けます。 (修学資金：30万円/月、入学金：200万円限度)
不妊治療費助成金	1,500	少子化対策の一環として、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、体外受精及び顕微授精の特定不妊治療の費用を補助します。(限度額：5万円/回、最大5年間で10回)【県補助への上乗せ】
歯周病検診委託事業	3,000	40歳、50歳、60歳及び70歳を対象に、歯周疾患を予防するため、歯周病検診を実施します。
住宅用太陽光発電システム 設置整備事業補助金	8,000	住宅用太陽光発電システム設置の費用を補助します。 (上限額：8万円)
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ 給湯器導入補助金	4,000	二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器導入の費用を補助します。 (上限額：4万円)



【労働費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
緊急雇用創出事業	28,249	離職者を対象に、次の雇用まで短期の雇用・就業機会を創出・提供する緊急雇用創出事業を実施します。 ・常陸大宮市魅力発見事業 ・道の駅出荷体制強化事業等



【農林水産業費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
有害鳥獣捕獲事業費	9,112	イノシシによる農作物の被害防止のため、狩猟期間以外の捕獲隊による銃・わなを用いた捕獲や、狩猟期間中の捕獲、狩猟免許取得費の補助を行い、有害鳥獣捕獲事業の拡充を図ります。
三美地区畑地帯総合整備事業	167,306	畑作農業経営の体質強化のため、三美地区の農業用排水施設、農道及び区画整理等の基盤整備を行います。
多面的機能支払推進事業	56,903	農業者等の組織が取り組む水路の泥上げや、農道の路面維持等の地域資源の保全活動に対し支援します。
木造住宅建設助成金	14,400	市内建築業者による常陸大宮市産材を使った住宅新築の費用を補助します。(市産材 1 m ³ 当たり4万円、上限60万円)
高井勝利基金事業補助金	20,433	林業振興と人材育成への活用を目的として、本市出身の高井勝利氏からの寄附金1億円で創設した基金を活用し、森林の間伐作業道開設、造林事業、市内小中学生対象の森林教室推進事業を実施する団体等へ費用を補助します。



【商工費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
住宅リフォーム資金補助金	7,000	緊急地域経済対策の一環として、市内建築業者による住宅のリフォーム工事に対して補助します。(上限額：10万円)
常陸大宮ふるさとB級グルメグランプリ補助金	1,500	地域の話づくりとにぎわいの創出、地域産業活性化を目的とした第5回「常陸大宮ふるさとB級グルメ選手権」の開催費用を補助します。
観光誘客促進事業	4,300	常陸大宮市の魅力を内外にアピールするため、観光情報誌を作成(増刷)します。
道の駅整備事業	495,254	国道118号線沿いの岩崎地区に「道の駅」を整備します。(H27事業は、工事監理、外構工事、備品購入費等)
道の駅管理運営法人設立	70,000	第三セクターとして道の駅を管理運営する法人設立のために出資します。
道の駅出荷団体育成事業費補助金	5,800	岩崎地区に整備する道の駅に農産物を出荷する団体が行う、安定的な供給と品質の向上を図るための育成事業や、施設・設備等の整備費用を補助します。



【土木費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
橋梁耐震化事業費	365,000	那珂川や久慈川に架かる大桂大橋、宇留野坏橋、辰ノ口橋の耐震補強工事を実施します。
橋梁維持補修費	93,200	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の維持工事を実施します。(H27は12橋)
河川整備事業	31,100	市管理の普通河川の改修工事を実施します。(H27は2河川)
道路新設改良費	458,275	市道の改良・舗装工事を行い、道路交通体系を整備し、生活の利便性を図ります。
道路構造物維持点検	34,696	道路構造物の老朽化による被害防止のため、維持点検を実施します。



【消防費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
土砂災害ハザードマップ作成	5,400	危険箇所Ⅱ及びⅢの調査が完了した、大宮・山方・御前山地域の土砂災害ハザードマップを作成し、各戸に配布します。 危険箇所Ⅱ：人家1～4戸 危険箇所Ⅲ：人家はないが今後立地が見込まれる場所
防災行政無線デジタル化整備事業	9,850	防災行政無線をデジタル化します。(H27は実施設計)
消防施設建設費	14,181	第1分団第1部の消防機械器具置場を改築します。
消防防災設備整備事業	39,960	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、西消防署に配備します。
消防本部訓練塔整備事業	151,594	消防本部の隣接地に、主塔及び副塔からなる訓練塔、ヘリポート、災害記念碑を整備します。



【教育費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
長山景樹奨学基金費	2,640	長山景樹氏の寄附金で創設された奨学基金で給付型奨学金制度を創設し、有為な人材育成を図ります。
中学校通学対策費	73,205	大宮中学校等のスクールバス運行に加え、美和・緒川中学校の統合に伴い、明峰中学校にスクールバスを運行します。
フューチャースクール推進事業	23,319	児童生徒が、教え合い学び合う「協働教育」の実践のため、タブレット型端末を導入します。(H27は小学校4校、中学校2校)
美和小学校整備事業	20,900	美和小学校屋内運動場を改築します。(H27は実施設計)
第二中学校整備事業	476,155	第二中学校校舎を改築します。(2カ年継続事業)
地域スポーツ活動環境整備事業	2,906	スポーツクラブひたまる25の活動拠点として、大場スポーツレクリエーションセンター(旧大場小)を活用し、地域スポーツ活動の活性化を図ります。



平成27年度 特別会計主要事業

会計名	事業概要
公営墓地特別会計	上村田霊園の第一期工事完成に伴い、墓地使用者の申込受付を平成27年度から開始します。
温泉事業特別会計	山方・御前山地域の温泉施設へ、木質バイオマスボイラーを設置します。 (事業費：565,500千円)



『ひたまるさんちの家計簿』

平成27年度の一般会計予算を1/5000に縮小して家計簿を作りました。
市の財政と家庭の家計簿では仕組みが違うので、完全な置き換えが難しく
わかりづらいところがあることをご了承ください。

収 入					
収入費目	歳入区分（目的別）	平成27年度		平成26年度	
		家計の収入	市予算額	家計の収入	市予算額
給 料	市税・分担金・負担金・ 使用料及び手数料等	109万円	54億4,502万円	110万円	54億9,957万円
実家からの援助	地方交付税・各種交付金・ 国県補助金等	255万円	127億6,990万円	246万円	123億50万円
不動産収入	財産収入等	2万円	8,159万円	1万円	5,348万円
銀行などからの 借 入 金	市債	47万円	23億7,350万円	42万円	21億1,350万円
貯金の取崩し	繰入金	21万円	10億2,999万円	16万円	7億9,295万円
前年度の残金	繰越金	6万円	3億円	6万円	3億円
1年間の収入合計		440万円	220億円	421万円	210億6,000万円
自 分 の 収 入 （ 自 主 財 源 ）		138万円	68億5,660万円	133万円	66億4,600万円
他 からの 収 入 （ 依 存 財 源 ）		302万円	151億4,340万円	288万円	144億1,400万円

支 出					
支出費目	歳出区分（性質別）	平成27年度		平成26年度	
		家計の支出	市予算額	家計の支出	市予算額
食 費	人件費	81万円	40億2,526万円	83万円	41億3,338万円
電気・水道代等	物件費（予備費含む）	74万円	37億2,453万円	67万円	33億7,844万円
医 療 費 介 護 費 用 等	扶助費	66万円	33億231万円	64万円	32億677万円
ロ ー ン の 返 済	公債費	57万円	28億4,384万円	59万円	29億6,323万円
家・車の修理代等	維持補修費	2万円	9,552万円	2万円	9,919万円
区 会 費 お 祝 金 等	補助費等	39万円	19億5,856万円	43万円	21億5,619万円
子 ど も へ の 仕 送 り	繰出金	58万円	29億1,781万円	58万円	28億8,829万円
家の増改築・ 車の購入代等	投資的経費（普通建設 事業費・災害復旧費）	58万円	28億8,697万円	43万円	21億3,389万円
友人へ貸したお金	投資及び出資金・貸付 金など	2万円	1億864万円	1万円	3,954万円
貯 金	積立金	3万円	1億3,656万円	1万円	6,108万円
1年間の支出合計		440万円	220億円	421万円	210億6,000万円

■問い合わせ■ 財政課 財政グループ ☎52 - 1111(内線375)

人事異動について

■退職

平成27年3月31日付

役 職	氏 名
市民部長兼危機管理監	海老根聖仁
保健福祉部長	宇留野美雪
保健福祉部医療保険課国保緒川歯科診療所長（歯科医師）	兼子 研一
経済建設部長併農業委員会事務局長	大内 清美
山方総合支所長兼市民福祉課長	渡辺 勝秀
緒川総合支所長兼市民福祉課長	金子 和司
御前山総合支所長兼市民福祉課長兼御前山保健福祉センター長	古田土 正
教育委員会事務局教育部長	皆川 清貴
市民部次長兼市民課長	篠田 新栄
会計管理者兼会計課長	坏 嘉
総務部税務徴収課長	荒井 昌一
市民部環境課長	皆川 一夫
市民部安全まちづくり推進課長	長山 繁
上下水道部下水道課長	小野瀬喜則
山方総合支所経済建設課長併農業委員会事務局	金子 淳
緒川総合支所経済建設課長併農業委員会事務局	鯉沼 衛
教育委員会事務局学校教育課長	田中 茂治
山方総合支所市民福祉課参事	菊池 均
緒川総合支所市民福祉課参事兼会計課分室長	正田 晴耕
総務部総務課長補佐併監査委員事務局次長	山崎 雅子
保健福祉部福祉課子育て支援室長	小泉 玲子
御前山総合支所市民福祉課長補佐兼会計課分室長	菊池 雅子
保健福祉部福祉課大賀保育所副参事兼主任保育士	津田 弘子
教育委員会事務局生涯学習課御前山事務所長兼御前山公民館長	仲田みとり
教育委員会事務局生涯学習課図書情報館課長補佐	古内 幸枝
教育委員会事務局学校教育課御前山学校給食センター調理手	粕谷美弥子
消防本部消防長	堀江 修
消防本部次長	廣木 昇一
東消防署長	鈴木 紀明
消防本部警防課長補佐	鈴木 金寿
西消防署副署長	砂川 正一

■新規採用

平成27年4月1日付

部 名	課 名	氏 名
総務部	税務徴収課	松本さとみ
	税務徴収課徴収推進室	吉川あやの
市民部	市民課	黒羽 亮
	市民協働課	神賀 智絵
	環境課	大森 貴矢
保健福祉部	介護高齢課	石塚 峻
	健康推進課	川野 隆満
	緒川歯科診療所長（歯科医師）	金子奈都子
経済建設部	都市建設課	飯塚 知明
上下水道部	都市建設課	小林 紘也
	水道課	石井 勇樹
		坏 大地

会計課	会計課	高谷 莉奈
教育委員会事務局	生涯学習課	中林 香澄
消 防	総務課	木村 謙仁
		岡崎 光平
		皆川 善孝
		菊池 紳吾
		今野 雄斗

■配置換え（課長以上のみ記載） 平成27年4月1日付

部 名	役 職	氏 名
政策審議室	秘書広聴課長	大森 清文
	企画政策課長	細貝 秀樹
総務部	総務課長併監査委員事務局局長	佐藤 浩之
	税務徴収課長	國松 章
市民部	部長兼危機管理監	菊池 清一
	次長兼安全まちづくり推進課長	宇留野 功
	市民課長	皆川 一見
	市民協働課長	金子 正平
	環境課長	岡崎 任一
保健福祉部	部長	木村 正幸
	次長兼福祉事務所長兼福祉課長	木村 安文
	介護高齢課長	相田 寿美
	医療保険課長	田沢 一夫
	健康推進課長兼総合保健福祉センター所長	篠田 佳子
経済建設部	部長併農業委員会事務局局長	山崎 俊夫
上下水道部	水道課長	内田 善一
	下水道課長	橋本 敏彦
山方総合支所	総合支所長兼市民福祉課長	川野辺美恵子
	経済建設課長	宮崎 正美
美和総合支所	市民福祉課長	岡崎 巧
緒川総合支所	総合支所長兼市民福祉課長	桑名 精一
	経済建設課長	小野瀬恵男
御前山総合支所	総合支所長兼市民福祉課長兼御前山保健福祉センター長	金子 克司
	経済建設課長	石崎 重昭
会計課	会計管理者兼会計課長	横山 伸一
農業委員会事務局	事務局次長	小室 貞夫
教育委員会事務局	教育部長	木村 雅之
	次長兼生涯学習課長兼歴史民俗資料館長	山本 洋一
	教育総務課長	坏 栄一
	学校教育課長	檜村 英子
消防	消防長	木村 政美
	消防本部次長兼総務課長	坏 司一
	消防本部次長兼警防課長	篠根 誠
	予防課長	川澄 節雄
	東消防署長	菊池 完治
	西消防署長	高野 稔

岩崎の風

～北原遺跡発掘調査報告～



調査区全景 北に久慈川が蛇行して流れる

平成25年11月から26年4月にかけて、岩崎地区で道の駅整備事業に伴う北原遺跡発掘調査が行われました。その成果がまとまりましたのでお知らせします。

今回の調査では、古墳時代から平安時代まで継続した大規模な集落の跡が確認されています。この集落は、6世紀前半から始まり、7世紀後半から10世紀の間にこの地域の中心的な集落として営まれていて、最盛期は9世紀だったと考えられます。



▲発掘調査の作業風景

これらの出土した墨書土器を集めて、歴史民俗資料館大宮館に展示コーナーを設置しました。ぜひ足を運んでみてください。

この発掘調査の成果は、私たちのふるさと常陸大宮市の成り立ちを知るための貴重な資料となりました。今後とも埋蔵文化財行政に、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

この期間の住居は計93軒確認され、須恵器、土師器など多くの遺物が出土しました。中央との関連を匂わせる遺物も出土していますが、特に墨書土器は33点出土し、大半が9世紀の住居から見つかっています。「万」・「福」・「吉」等の縁起の良い文字が多く、「稲村」・「真家」・「占」といった文字もありました。

この集落が営まれた時代は、地方の豪族が律令国家体制に組み込まれていき、中央からの地方支配が確立していく時代です。今回の成果によって、久慈川沿いの集落が、歴史の流れに飲み込まれていく様子を垣間見ることができました。



▲墨書土器と展示の様子

■問い合わせ■

生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111 (内線362)
歴史民俗資料館大宮館 ☎52-1450

3/7

(仮称)常陸大宮市道の駅の駅長が決定しました

◇駅長へ辞令を交付

市役所で辞令交付式が行われ、道の駅駅長（任期付職員）へ辞令が手渡されました。

採用された遠藤修平さんは、中小企業診断士の資格を持ち、流通業界の店舗開発、マーケティングやコンサルティング業務に携わってきました。

今回の駅長決定を受け、すでに前住所地の横浜市から常陸大宮市に移り住み、道の駅の開業準備や経営全般の業務にあたっています。また、民間企業で培った知識や経験を生かしながら、魅力ある道の駅づくり、シティセールスの拠点づくりに取り組んでいきます。



◇駅長からごあいさつ



来春の開業を目指す道の駅の運営管理に携わることになりました、遠藤修平と申します。

常陸大宮市民の皆さん、生産者や商工事業者、これまで整備事業に関わった多くの皆さんの大きな期待と、地域振興に寄せる熱い思いに身の引き締まる思いです。

私が思う「道の駅」とは、地域にある様々な問題や課題を解決していく「場」や「機能」のひとつと考えています。地域農業の振興に寄与できる農村ビジネスの芽を育てること、地域の持つ魅力や産品、技能、景観、文化などを分かりやすく伝えること、道の駅を訪れた人がその臨場感を満喫し、長く記憶に留めておいて

もらうこと、「お客様の声」に直接触れることと考えています。

今後は開業に向け、整備事業に関わる多くの方々からご指導ご助言をいただきながら、地域に根ざし、地元の皆さんが街のシンボルと思える地域密着型の道の駅づくりに取り組んでいきます。

道の駅に関するご意見等がございましたら、

市役所商工観光課 道の駅整備推進室 ☎52 - 1111（内線274、275、276）

までお寄せください。



いっしょにまちづくり



～「ひたち・おおみやげ」ができました～

私は和菓子店を営みながら、各団体に所属し活動しています。その中で、商店街の仲間達と進めている「ふろしきタウン ひたちおおみや」で、新しい市のお土産を作りました。市ならではのお土産があったらいいのに、との声にこたえ各商店の自慢の逸品を詰め合わせにし、地元で採れたものや、加工したものなど、地元でこだわったものばかりです。名付けて「ひたち・おおみやげ」です。「お、お！土産！」と驚くほど素敵なもの、「大土産」りっぱなお土産、「大宮げ？」（なまって）大宮のものですか？ というシャレも入っています。

常陸大宮市が故郷の方々に、ふるさとを懐かしく思い、地元のものをお土産に持ち帰り、市を全国に知ってもらおう、という作戦です。もちろん、今お住まいの方々にも、地元自慢のお土産を味わってほしいと思っています。



和菓子店店主・中心商店街
活性化推進協議会副会長
砂川 繁 さん

3/6 福祉芸能発表大会を開催

毎年恒例の「福祉芸能発表大会」が、市文化センターで開催されました。日頃の活動の中で取り組んでいるもの、余暇活動として積み重ねてきたものなど、出演者は大きな舞台上で一生懸命演目を披露しました。

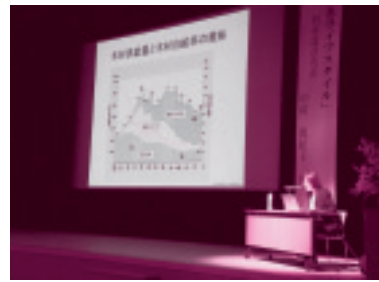


また会場と一体となつての歌などもあり、出演者も来場者も大会を楽しんでいました。

最後は恒例の抽選会で締めくくられ、今年も大変盛り上がった大会となりました。

3/7 エコライフフォーラム

緒川総合センターで、市環境市民会議主催の「エコライフフォーラム」が開催され、約230人が来場しました。会場にはエコ展示コーナーが設置され、緑のカーテンに取り組んだ事業所や個人宅の写真の展示、各団体の資源を活用した環境にやさしい取り組み等が紹介されました。



また、県環境アドバイザーの中村真紀子さんを講師に迎え、「環境と共生するライフスタイル」と題した講演会が行われました。

3/15 女性が羽ばたくまちづくり —男女共同参画講演会—

光畑由佳さんを講師に招き、『無いなら創る私らしい「仕事」と「ライフスタイル」』と題した講演会を開催しました。これは、市が推進する男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの一環として行われたものです。



光畑さんは、有限会社モーハウスを設立し、みんなで子育てする社会の実現に向けて活動を行っていて、この日は自分自身の子育てや起業など、実体験に基づいて語りました。

また子連れ出勤が当たり前となっている会社の様子など、興味深い話に来場者は熱心に耳を傾けていました。

3/6 市制施行・合併10周年 記念誌を発行

平成16年10月16日に5町村が合併してから、その10年間の歩みをまとめた記念誌を発行しました。表紙は、各地域の写真を市の鳥「かわせみ」の形に取り入れています。また、市の歴史や取り組みを写真つきで紹介しています。

この記念誌は、市内の班加入世帯に配布していて、ホームページでも閲覧することができます。

希望者には、本庁や各総合支所でも配布しています。詳しくは秘書広聴課まで。



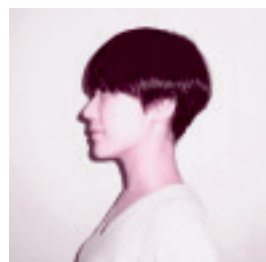
3/4 長嶋りかさんが「2014毎日デザイン賞」を受賞

常陸大宮大使でグラフィックデザイナーの長嶋りかさんの「潔いデザイン」が、2014毎日デザイン賞を受賞しました。

この賞は、グラフィックやインテリア、クラフトやファッションなど、あらゆるデザイン活動で年間を通じて優れた作品を制作・発表し、デザイン界に大きく寄与した団体や個人等へ贈られるものです。また日本のデザインの活性化とともに歩み続け、国際的、文化的な賞として高い評価を受けています。

今回、札幌国際芸術祭2014のグラフィックなどが評価され、栄えある受賞となりました。

長嶋さんは本市出身で、武蔵野美術大学を卒業後、博報堂を経てデザイン事務所「village®」を設立し、国内外で活躍しています。



◀受賞した長嶋さんと受賞作品

3/22

美和中学校閉校式

昭和44年に創設された美和中学校は、生徒数592人でスタートし、それから46年、3,894人の卒業生を送り出し、平成26年度で閉校となりました。

閉校式では、市長式辞、学校長や来賓のあいさつの後、生徒会長の大瀧拓良さんが生徒を代表して別れの言葉を述べました。



その後、記念碑除幕式と記念式典が行われました。記念式典では、アトラクションとして県警音楽隊の演奏や、映像で振り返る美和中学校の歴史が上映され、最後に全校合唱で長い歴史に幕を閉じました。



▲記念碑「美和中生ここに学ぶ」の除幕式

3/22

緒川中学校閉校式

緒川中学校は、昭和46年に小瀬中学校と八里中学校が統合して開校し、その間3,200人を超える生徒が巣立ちました。

閉校式では、在校生や卒業生、先生OBや地域の皆さんが参加し、生徒会長の笠井守さんが代表して別れの言葉を述べました。



その後、校庭で記念碑除幕式が行われ、記念式典では、水戸二高コーラス部が合唱を披露しました。またスライドで学校の歩みを振り返り、44年の歴史に思いをはせました。



▲水戸二高コーラス部と生徒たちの合同合唱

4/7

明峰中学校が開校しました

平成27年度から美和中学校と緒川中学校が統合して、明峰中学校として生まれ変わりました。

開校式では、新しい校章や校歌が披露され、統合に尽力された方などへ感謝状が贈られました。また常陸大宮大使で切り絵作家の富山明峰さんから、開校記念の作品「明峰丸大海原へ」の寄贈がありました。



▲新しい校旗と富山明峰さんの切り絵作品



二つの中学校の伝統を引き継いだ明峰中学校は、「郷土を愛し 共に磨き 未来を拓く」と校訓も新たに、45人の新入生を迎えました。入学式では、新入生を代表して内田愛梨さんが誓いの言葉を述べました。



▲入学式の様子

3/8

第10回常陸大宮市まちづくりネットワーク大会開催

市と茨城大学の地域連携事業である「まちづくりネットワーク大会」が開催され、地域活動に取り組む団体や個人、関心のある市民、茨城大学の教員や学生等80人が参加しました。

初めに「市の食を味わう」として、そば、あゆ、シイタケを使った、「にしんそば」ならぬ「あゆそば」を堪能しました。

また会場には、各団体の活動を紹介するパネルのほか、郷育立市事業の一環として取り組んだ「お宝発見事業」の小学生の作品や、大宮中学校の1年生が総合的な学習の時間に学んだ「常陸大宮市の魅力づくり」の作品展示が行われました。



【第1部】「常陸大宮市の食」について語り合おう

市の特産品であるそば、あゆ、シイタケの話から始まり、今後の「食」によるまちづくりについて、意見交換が行われました。

また、茨城大学人文学部の星野さんが来場者にインタビューをし、市のおいしい食べものや伝統料理などについて報告をしました。

【第2部】2014年度の活動報告

団体、個人から「ウダーベ音楽祭」、「常陸大宮の魅力いっぱいツアー」の報告がありました。

特にウダーベ音楽祭は、38校の校歌がリレーでつながり、市制施行10周年を市民主体による手づくりのイベントで祝い、地域が一体となって取り組むことができました。

【第3部】2015年度の主な活動予定

- ・川原の音楽会2015(家和楽地内 久慈川河川敷)
- ・鷲子山上神社祭礼への協力
- ・第2回ウダーベ音楽祭
- ・常陸大宮の魅力いっぱいツアー



3/12

車いすバスケット講演会 ～連携型中高一貫交流～

中高一貫連携授業として、水戸市出身で車いすバスケットプレーヤーの齋藤信之さんを招いて、小瀬高等学校で講演会を行いました。

齋藤さんは、高校3年生の時に交通事故で脊髄を損傷し車いす生活となり、その後、福祉先進国であるアメリカへ、同じような障害を持つ日本人で初の単身渡米を果たしました。現在は、自ら設立した車いすバスケット団体「スピニング・フープス・レボリューション」の代表を務めています。

講演会は、中高生5人との対談形式で進められ、生徒からの様々な質問に答えました。



▲齋藤さんを囲んでの対談の様子

講演後の生徒たちからは、「自分たちの頑張りが甘かったことを痛感した」、「ポジティブに考える齋藤さんの生き方に驚かされた」、「これからいろんな事にチャレンジしたい」といった前向きな意見がありました。

その後、常磐大学生の協力のもと生徒が車いすバスケットを体験しました。生徒たちは車いすの操作に四苦八苦しながら、一生懸命ボールを追っていました。

障害を持ちながらも、信念を持って生きる齋藤さんの姿に生徒たちは心を動かされ、たくさんの勇気をもらった様子でした。



▲車椅子バスケットに挑戦

3/16 市の無形民俗文化財を新たに指定

市では、「西金砂神社小祭礼における諸沢の祭礼習俗」を無形民俗文化財に指定しました。

この祭礼を支える氏子の中で、諸沢は最も世帯数が多い地区ですが、神輿の行列の進路から外れているために、小祭礼や72年に一度の大祭礼においても、残念ながらあまり注目されません。しかし、祭礼組織やその活動、代々伝わる「警固」と呼ばれる家々の存在と役割、西金砂神社境内で行われる花纏の繰込みや諸沢地内での行事は、小祭礼の古い習俗をよく残しています。

6年後の記念すべき第200回小祭礼はもちろんのこと、私たちが誇る伝統文化として、未来へしっかりと伝えていく必要があります。

3/28 諸沢で舞を奉納（西金砂神社小祭礼）

諸沢地区で小祭礼が行われ、舞踊家で常陸大宮大使の堀馨予さんらによる奉納舞が披露されました。堀さんは、市内の神社で舞を奉納したり舞踏を制作したりするなど、地域と一体となった活動を行っています。



この日は春らしい気持ちのよい天気で、見物に訪れた人たちは、伝統ある行事に興味深く見入っていました。

4/1 緒川歯科診療所に新しい先生

緒川歯科診療所で昭和62年から約28年間、歯科医師として勤務された兼子研一先生が退職し、4月から任期付職員として飯塚知明先生が歯科治療を行っています。

飯塚先生は埼玉県秩父市の出身で、今年の3月まで明海大学で歯学部助教や歯科医師臨床研修指導医として勤め、さらに大学病院で歯科治療に携わってきました。



これまでの経験をいかし、歯科治療をとおして、緒川地域をはじめ市民の皆さんの健康の維持・向上に取り組みます。

4/1 市の活性化に期待

国は地方創生の目玉のひとつとして「地方創生人材支援制度」を新たに設立し、常陸大宮市では、創生特別顧問に茨城大学の西野由希子教授が就任しました。全国38都道府県の69市町村が活用する予定で、県内では本市と高萩市、桜川市にそれぞれ派遣されています。



西野先生は、これまでも市の「まちづくりネットワーク」などの事業を推進されていて、今回就任したことにより、各分野の連携強化や個性的なまちづくりの創生へ期待が高まっています。

3/31 学力向上推進プロジェクトで表彰

美和中学校が、県の事業である「平成26年度学力向上推進プロジェクト事業」に係る授業力ブラッシュアップ研修協力校として、生徒の学力向上に向けた効果的な国語科の指導法について研究を行いました。その研究の成果を広く普及したことに對し、県教育長から表彰されました。



授業発表会では、市内外から多くの教員が参加して、文学的文章の理解を深めるための指導の工夫について、授業公開及び研究協議を行いました。

3/31 いばらき理科教育推進事業で表彰

緒川小学校が、県の事業である「いばらき理科教育推進事業」の小学校教科担任制モデル事業のモデル校として、平成24年度から3年間にわたり実施し、県教育長から表彰されました。

この事業では、高学年の理科の授業で教科担任制を取り入れ、専門の教員が授業を行い児童の学習意欲を高めるとともに、教員間でも積極的に授業の研修を行い、指導力向上を図りました。



第6回「常陸大宮市のお宝発見事業」を、御前山青少年旅行村で実施しました。今年度最終回となる今回は27人が参加し、こんにゃく作りと1年間のまとめを行いました。

初めは、粉からのこんにゃく作りです。お湯にこんにゃく粉を入れ、慎重にかき混ぜた後、アクを加えて固めました。それを各自好きな形に切り、20分ほど煮てアク抜きをして完成しました。

また、講師からこんにゃくの歴史や、本市出身の中島藤衛門が粉こんにゃくを作ったことで保存や運搬が便利になったことなどの説明を聞きました。

午後は、それぞれがこれまでの体験で学んだことや感じたことをまとめ、最後に一人ひとり修了証を受け取りました。

今回で事業は終了となりましたが、参加した子どもたちは、様々な体験をとおしてふるさと常陸大宮市について理解と愛着を深めることができました。



▲べとべとのこんにゃくに悪戦苦闘



▲講師の話に興味津々



▲みんなで話し合って一年の活動をまとめました

市議会臨時会及び定例会

2/12

平成27年第1回市議会臨時会が開会されました。この臨時会では、次の議案（市長提出議案）が審議され、可決されました。 ○工事請負変更契約の締結について

2/26
~3/20

平成27年第1回市議会定例会が開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）が審議され、それぞれ可決及び同意されました。

条 例

- 常陸大宮市教育長の勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例
- 常陸大宮市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例
- 常陸大宮市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例
- 常陸大宮市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例
- 常陸大宮市立幼稚園保育料徴収条例
- 常陸大宮市立保育所の設置及び管理に関する条例
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 常陸大宮市行政手続条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員定数条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

条 例

- 常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市公営墓地条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市出産祝い金支給条例の一部を改正する条例

平成27年度予算

- 常陸大宮市一般会計予算・特別会計（10会計）予算・上水道事業会計予算

平成26年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（9会計）補正予算・上水道事業会計補正予算

人 事

- 副市長の選任について 綿引 義久

そ の 他

- 新市まちづくり計画の一部変更について
- 市道路線の変更について

4/12

30年ぶりに大相撲を開催 —常陸大宮場所—

大相撲常陸大宮場所が西部総合公園体育館で開催され、市内外から約3,300人が来場しました。朝8時の開場前からたくさんの人が列をつくり、期待の高さがうかがえました。

この日は、髪結いや横綱綱締めの実演のほか、初切や相撲甚句など本場所では見られない出し物がありました。

また、稀勢の里対琴奨菊、白鵬対日馬富士など人気力士同士の取り組みがあり、力士を応援する声援やかけ声に会場は大いに盛り上がりました。本場所に負けない気迫あふれるぶつかり合いや突っ張りが繰り出されると、満員の会場からは大きな拍手が送られました。当日の様子を写真で紹介します。



スポーツ大会結果

第42回那珂地区剣道錬成大会

開催日：3月22日

主 催：那珂地区剣道連盟

会 場：西部総合公園体育館

参加数：60団体

	優 勝	準 優 勝	第 3 位	
小学校低学年の部	上野剣道クラブ	那珂地区合同	御城館B	横堀剣道B
小学校高学年の部	上野剣道クラブA	上野剣道クラブB	大宮尚武館	芳野剣心会
中 学 生 の 部	横堀剣道	大宮中A	那珂三中A	第二中A
高 校・一 般 の 部	戸多剣友会C	戸多剣友会A	戸多剣友会B	白雲会



山火事を防ぎましょう

～山火事は貴重な森林を一瞬のうちに消失させる災害です～

平成27年全国山火事予防運動統一標語 **「伝えよう 森の大事さ 火の怖さ」**

これからゴールデンウィークを迎え、ハイキングや山菜採りなどで山に入る機会が増えます。

休憩中に一服…その時「何気なく捨てた1本のたばこ」でも、それが取り返しのつかない大きな山火事につながる可能性があります。

山火事の怖さは、火の粉が飛散し同時多発的に着火延焼すること、延焼スピードが速いこと、消火活動が困難なことが挙げられます。山火事は延焼しやすく消火しにくい火災で、大規模火災に発展して地域社会に甚大な影響を与えることから、発生させないことが最も大切です。

ひとり一人の力を合わせ、恐ろしい山火事を防ぎましょう。

【山火事を防ぐポイント】

- ・火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する
- ・空気が乾燥している時や風が強い時は、たき火や火入れをしない
- ・喫煙は指定された場所で行い、吸いがらは必ず消して投げ捨てない
- ・火遊びをしない



消防車を紹介します

救助工作車（車両名：きゅうじょひたちおおみや1）

この車両は東消防署に配置されていて、市内すべてを管轄しています。オレンジ色の救助服を着た救助隊員が乗車し、火災や交通事故等の救助現場に出場します。

車体にはウインチ、クレーン、照明等が装備され、コントローラー1つで各操作が可能です。また、大型の油圧カッター、スプレッダー、空気呼吸器や約9m伸長できる三連梯子、排煙機など、人命救助に必要なたくさんの機材を積載しています。他にも、瓦礫の中にとり残されている人を探し、会話もできる画像探索機も搭載されています。



右は画像探索機▶
左はエンジンカッターと救助チェーンソー

善意をありがとう

順不同・敬称略

<新入学児童生徒の安全を願って>



J A 常陸農業協同組合
通学帽



大宮地区交通安全協会
ランドセルカバー&タスキ



常陽銀行
防犯ブザー

<善意銀行>



常陸大宮クロスカントリー大会
実行委員会 100,000円

ふるさと見て歩き 第99回

『大岩「竹内橋」の由来』

◇大岩に開通した農道の橋 その名は「竹内橋」

昨年、緒川地域大岩地区と御前山一栃木県那須烏山市をつなぐ県道12号線の南側に、農道大岩線が開通しました。この農道には小舟川に架かる橋があり、地元からの提案で「竹内橋」と名付けられました。



▲農道大岩線の小舟川に架かる竹内橋

◇大岩村の名主で水戸藩公許の紙問屋「竹内家」

地名にちなんだ名を持つ橋が多い中、この橋は、大岩の名家「竹内家」に由来して名付けられたものです。

大岩の竹内家から太田（現常陸太田市）に分家した竹内家の当主 権兵衛よりの、先祖についての問い合に答えた手紙（文化6年 1809年）によれば、「竹内家はその昔、武蔵国川越18万石の城主であったが、足利尊氏によって亡ぼされた。そして忠臣30人余りを連れて、佐竹氏が治める太田に住んでいた縁者を頼って身を寄せ、その後、佐竹領内の大岩村に移って農民となった。それから我らまで、15、6代にもなる…」とあります。

大岩の竹内氏は、佐竹氏の秋田移封に随行せず、水戸徳川家のもとで大岩村の名主となりました。水戸藩第一の産物であった紙（西ノ内紙に代表される手漉き和紙）を扱うことが許された在郷問屋の中で、最も古い3軒の内の1軒として栄え、藩内の紙産業の盛衰に翻弄されつつも、幕末には領内の名家として郷土に列せられます。600年も昔から大岩を治めていたと伝える竹内家を、かつて近在の人々は、畏敬の念を込めて「竹内様」と呼んでいました。

ちなみに太田の竹内家は代々権兵衛を名乗り、明治から昭和初年に活躍した権兵衛は、茨城交通や日立電鉄を創業した有名な実業家です。

◇豪快（!?）な人物だった竹内源介 源 茂喬

第54回ふるさと見て歩き「大岩の三輪神社」で、神社と歴代水戸藩主の関わりを漢文で記した石碑が境内にあることを紹介しました。この碑の文章を草し、書いた人物は、裏面に願主の筆頭として名のある「当村農長 竹内源介源茂喬」と考えられます。江戸時代中頃の竹内家当主です。

碑文には、2代藩主光圀が2年続けて大岩を訪れ、^{くにがみ}国神社と称していた神社の祭神が、^{やまとのくに}大和国三輪明神^{みづのうみ}の大物主神であることを村人に教え、“助さん”こと佐々宗諱に命じて、大和三輪山の杉の苗木を神社境内に植えさせたこと、その後、寛延3年（1750年）に社殿を現在の街道沿いに移築し、寛政3年（1791年）には社殿の修繕をしたことが記されていて、裏には、大旦那として6代藩主治保の名が大書されています。こういった村の鎮守社の造営に藩主が関わることは、きわめて珍しいことです。

茂喬（1740～1802）は学問を好み、書を^{ゆうおう}宥庇（真言宗僧侶）、漢詩を^{だいがうりゅうほう}大剛隆豊（茂木の人 曹洞宗僧侶）、儒学を立原翠軒（水戸藩の学者 彰考館総裁）に学びました。同じように紙問屋で好学の士である、^{こむろ}小室藤次衛門（下檜沢）や^{せきざわげん}関沢源次衛門（野口）とも親交が深く、比較的史料が残っています。

茂喬の墓碑銘は師の立原翠軒によるもので、「酒を飲んで大言壮語し、藩からお叱りを受けることがしばしばあった。しかし学問を好み、書を善くした彼を多くの人が慕い、身は民間にありながら志は武士たちよりも高かった」と讃えています。4つ年下の翠軒は、竹内家に宿泊もしており、^{ごうほうらいらく}豪放磊落であったと想像される茂喬の人柄を愛していたようです。彼の書と思われる三輪神社の石碑の悠然とした文字も、その人物を彷彿とさせます。

農道の小さな橋に付けられた名前に、広がりのある地域の歴史が込められているのです。



◀大岩三輪神社にある石碑裏面

＜参考資料＞

秋山高志『在郷之文人達 近代之予兆』2011那珂書房

歴史民俗資料館大宮館 ☎52-1450

アレルギーについて



常陸大宮済生会病院

小児科部長
佐藤 未織 先生

アレルギー疾患には気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどがあります。今回は、近年増加している食物アレルギーについてお話しします。

食物アレルギーでは、腸で分解された食物の一部がアレルゲンとして体に認識され、ヒスタミンなどアレルギー症状を引き起こす物質が放出され、症状が現れます。

《症状》

皮膚	じんましん、かゆみ
呼吸器	せき、ぜいぜい
消化器	嘔吐、腹痛、下痢

その他にも、血圧低下、意識障害など症状は多岐にわたります。多くの場合、食物を食べ30分から2時間で症状が出現します。

食物アレルギーを有する年齢は乳児期が最も多く、幼児、学童になるにつれ減少します。乳幼児期の主な原因食物である卵、乳製品、小麦は、その後6歳までに約9割の子どもが食べられるようになります。一方、エビ・カニなどの甲殻類、ピーナツ、そばなどは、成長しても食べられるようになることは少ないとされます。

食物アレルギーの診断には問診が非常に大切で、何をどのくらい食べ、どのような症状が出たのか、以前にも同様のエピソードがあったかなど、病院では詳しく話を聞きます。血液検査だけで食物アレルギーの診断ができると誤解されやすいのですが、それだけで診断はできません。実際の摂取歴や症状出現の状況をもとに、検査の結果を参考にしながら総合的に診断することが必要です。

食物アレルギーと診断した場合は、必要最低限の原因食物の除去を行い、代替食品を利用することで十分な栄養をとれるよう配慮します。また成長するに従い、原因食物を食べられるようになる可能性があるため、診断について定期的な見直しを行います。

スキンケアにより、乳児早期から湿疹の少ない皮膚のバリアが保たれている状態を維持し、離乳食を遅らせず適切に開始することで、食物アレルギーの発症を予防できる可能性が報告されています。



引越しの契約トラブルに注意！！

引越し料金は安いにこしたことはありませんが、インターネットや電話で簡単に申し込める反面、トラブルも多くなっています。

!! 荷物を紛失された！

荷物の紛失や破損は、引き渡し日から3カ月以内に通知しないと業者の責任がなくなります。作業終了時には段ボール箱の数などを両方で確認し、中身やその状態についても、早めに確認しましょう。

!! 見積りを取る時は

- ・見積りは複数の業者に依頼し、価格だけで判断せず、サービス内容を慎重に検討してください。また見積書が契約内容になるので、打ち合わせの内容は必ず見積書に記載してもらいましょう。
- ・電話やインターネットでの見積りは、双方の思い違いがトラブルにつながるので、業者と綿密に打ち合わせしましょう。

!! 引越運送約款は必ず読みましょう

見積り時に、契約書の代わりとなる引越運送約款が提示されるので、必ず目を通しましょう。一般に使われている「標準引越運送約款（国土交通省が制定）」では、

- ▶手付金や内金は請求できません。
- ▶キャンセルや延期の場合、引越し予定日の前々日までは手数料がかかりません。前日では運賃の1割以内、当日では2割以内の手数料が発生します。

*不安に思ったりトラブルにあったりした場合は消費生活センター等に相談しましょう。

～困った時は消費生活センターに相談しましょう～

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
 - 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通) (本庁商工観光課内)
- ※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。



今月の耳より情報 No.1



今月から新しい情報発信コーナーが始まりました。
市に住んでいても意外に知らない場所や事柄、市の魅力などを発信していきます。

今回は、前小屋城跡（泉地区）を紹介します。

ここはダイダラボッチ伝説が残る場所で、泉の観音さんとして有名な種生院があります。その西側に城跡として遊歩道が整備されていて、遺構を見ることができます。往復で10分程度の道のりですが、木製の遊歩道が木々の間をとり、ダイダラボッチの足跡といわれる五器井戸があります。

遊歩道はたくさんの木々に囲まれ、夏は涼しいうちに、地元の子どもの虫取りの場にもなっているようです。

これから新緑の季節、お出かけになってみてはいかがでしょうか。



▲右奥に入口が…



▲木製の遊歩道



◀東屋と井戸

ひたまるがゆく

アニメとコラボ？！

3月22日に東京ビッグサイトで行われた『Anime Japan 2015』に参加してきました。これは日本のアニメが大集合して、約11万人のファンが来場する一大イベント。ひたまるも大好きなドラゴンボールやワンピースに興奮しつつ、忘れずに市のPRもしてきました！

それにしても、コスプレをしている人があっちにもこっちにも…。さらには外国から来た人もたくさんいて、さすが日本が世界に誇る文化だなあと感心したひたまるでした。



▲つくば市の「フックン船長」と友だちになりました！

◀会場を彩ったコスプレーヤーと記念写真



スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.8

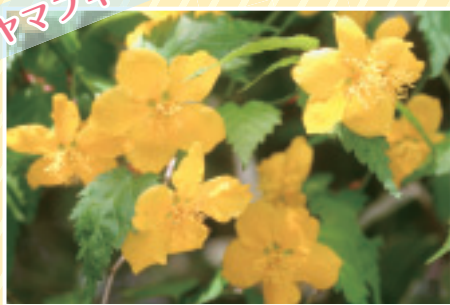
3月25日、26日に旧大場小学校体育館で開催されたニュースポーツ体験教室は、2日間で延べ64人の参加があり盛況でした。スポーツクラブひたまる25からも十数名が参加し、同じ参加者として初心者に助言等を行いました。

スポーツの楽しさを皆で分かち合うスポーツクラブひたまる25は、常時会員募集中。年会費は、個人会員（大人＝高校生以上）が5千円で、初年度のみ入会金2千円。

■問い合わせ■ マネージャー・小室 ☎080-5075-3921
生涯学習課 スポーツ推進グループ
☎52-1111（内線342・343）



ヤマブキ



バラ科 ヤマブキ属



御前山ビオトープ周辺の植物等

山地の谷川沿いなどの湿ったところに生える落葉低木で、株立ちになり、高さは1～2mになります。新枝は緑色ですがやがて褐色になり、3～4年で枯れてしまいます。新しく出た短い側枝に鮮黄色の花が1個ずつ咲きます。花卉もガクも5個で、果実は9月に熟し4～5個つきます。

近縁のヤエヤマブキはヤマブキの園芸品種で、雄しべは花卉に変化し、雌しべも退化しているので実にはできません。太田道灌の故事で有名な和歌に出てくる山吹は、このヤエヤマブキです。

（写真・データ提供 御前山ダム環境センター）

常陸大宮市の人口

（4月1日現在・推計常住者）

総人口 42,650人
（男 20,986人 女 21,664人）
世帯数 16,275世帯

広報 常陸大宮 4月 第127号

発行日 平成27年4月27日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

